



株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION
© PRINTED IN JAPAN B54-4298-20 (DT)

目次

| | |
|-------------------------|----|
| ■安全上のご注意 | 2 |
| ■取り付け上のご注意 | 4 |
| ■取り付けかた | 5 |
| ■電源等の接続のしかた | 8 |
| ■オーディオ/ナビゲーション機器の接続 | 10 |
| ■AV-入/出力端子およびプリアウト端子の説明 | 11 |
| ■仕様一覧 | 12 |

ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にお取り付けいただくため「安全上のご注意」をお取り付けの前によくお読みください。

絵表示について：

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

Ⓢ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

警告



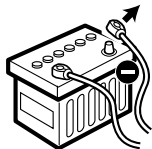
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



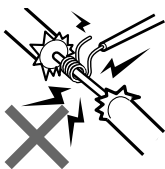
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にしないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



注意

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

注意



実施

カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためくお買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止



本機を使用中は、レシーバーユニットの表面の放熱部分に触れないでください。



実施

製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



禁止

製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

取り付け上のご注意



注意

取り付けには必ず付属の金具やネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両から外れることがあります。



実施

本製品はしっかり固定してください。固定できない場所には取り付けしないでください。



実施

安全のため、パーキング検出コードは必ず接続し、走行中にテレビ/ビデオの映像が見られないようにしてください。



注意

レーザーユニットは放熱の良い場所に取り付けてください。カーペット等の下には絶対に取り付けしないでください。



実施

TVアンテナはリアウインドウのガラス面に取り付けます。付属のクリーナーとクリーニングクロスでガラス面の油膜や汚れを拭き取ってから、確実に固定してください。不安定な取り付けをしますと、脱落等により車両を傷つけたり、事故の原因になります。



実施

TVアンテナは右用、左用があります。取り付けの際は車幅やバンパーからはみ出さないように取り付けてください。

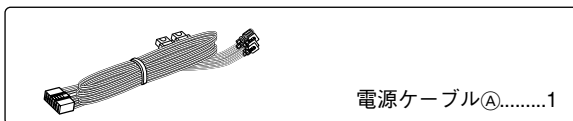


注意

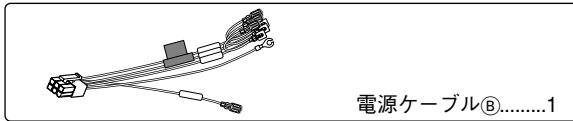
TVアンテナを取り付ける際は車両のFM/AMアンテナから離してください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送受信時にノイズが入る場合があります。

取り付け用部品

本機には取り付け用として以下の部品が付属しております。取り付け/接続前にご確認ください。



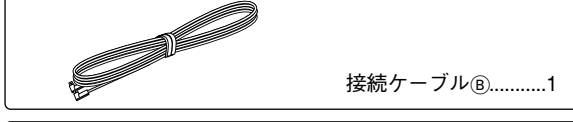
電源ケーブル(A).....1



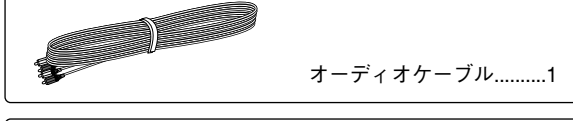
電源ケーブル(B).....1



接続ケーブル(A).....1



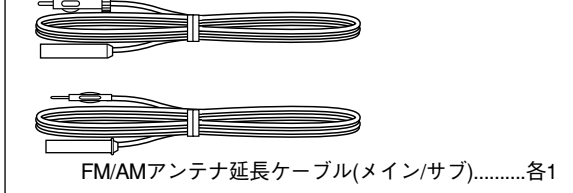
接続ケーブル(B).....1



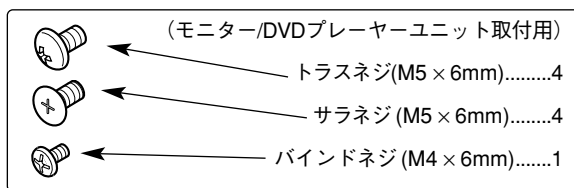
オーディオケーブル.....1



中継コネクタ.....1



FM/AMアンテナ延長ケーブル(メイン/サブ).....各1

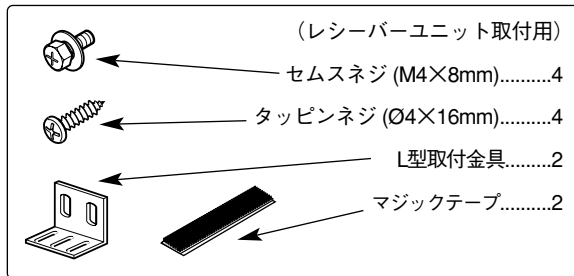


(モニター/DVDプレーヤーユニット取付用)

トラスネジ(M5×6mm).....4

サラネジ(M5×6mm).....4

バインドネジ(M4×6mm).....1



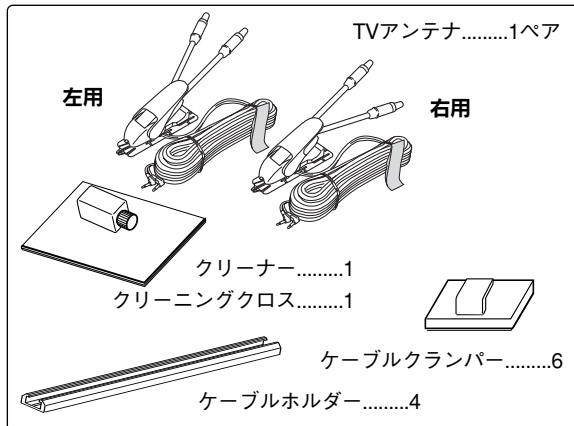
(レーザーユニット取付用)

セムスネジ(M4×8mm).....4

タッピングネジ(Ø4×16mm).....4

L型取付金具.....2

マジックテープ.....2



TVアンテナ.....1ペア

左用

右用

クリーナー.....1

クリーニングクロス.....1

ケーブルクランパー.....6

ケーブルホルダー.....4

取り付けかた

■ モニター/DVDプレーヤーユニットの取り付け

付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×6mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



注意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。

また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。

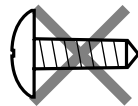
なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



6mm
MAX



6mm
MAX



セムスネジ (M4×6mm) 【付属】

別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバンドネジで固定します。

トラスネジ (M5×6mm) 【付属】

またはサラネジ (M5×6mm) 【付属】

車両ブラケットなど



注意

光ケーブル (別売品のDVDサラウンドプロセッサ"DS-01"に付属) を配線する際は、半径30mm以下に曲げないように注意してください。それ以下に曲げると光ケーブル内の光ファイバーが破損して使用できなくなる場合があります。特に本ユニットを車両に取り付ける際には、光ケーブルが本ユニットと車両部品の間挟み込まれていないか確認してください。



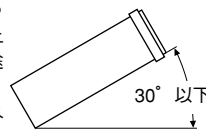
注意

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。



注意

- 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びや映像途切れの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



■ レシーバーユニットの取り付け

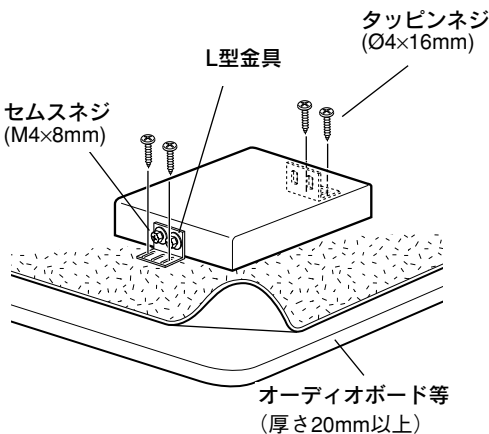


注意

- 安全の為に、L型金具とタッピンネジ、セムスネジを使用して取り付けてください。
- レシーバーユニットにカーペットを被せないでください。放熱ができなくなり、内部が高温になり故障や発煙場合があります。

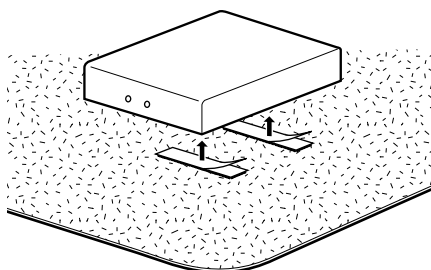
オーディオボードへの固定

1. 取り付け金具をレシーバーユニットの両側にセムスネジ (M4×8mm) で固定します。
2. タッピンネジ (Ø4×16mm) を使用してオーディオボード等に固定します。



パイルカーペットへの固定

マジックテープのはくり紙をはがし、レシーバーユニットの底面に貼り、パイルカーペットに固定します。



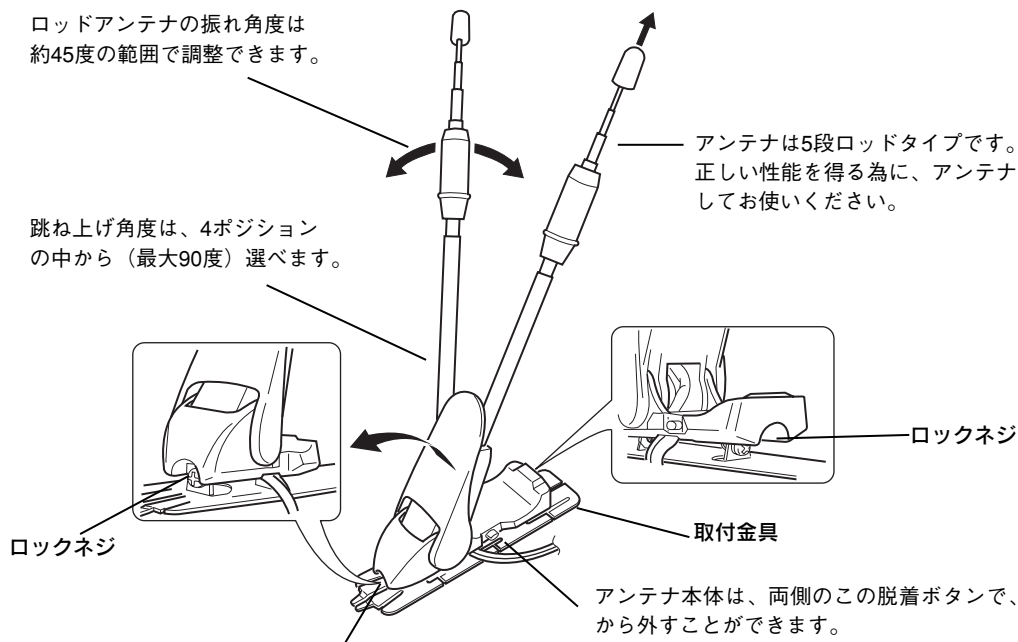
取り付けかた

■ TVアンテナの説明

ロッドアンテナの振れ角度は約45度の範囲で調整できます。

跳ね上げ角度は、4ポジションの中から（最大90度）選べます。

アンテナは5段ロッドタイプです。正しい性能を得る為に、アンテナは完全に伸ばしてお使いください。



前後のロックネジを緩めると、アンテナ本体を左右45度の範囲で傾けることができます。傾け角度を決めたら、ロックネジを絞めて固定します。

■ TVアンテナの取り付け

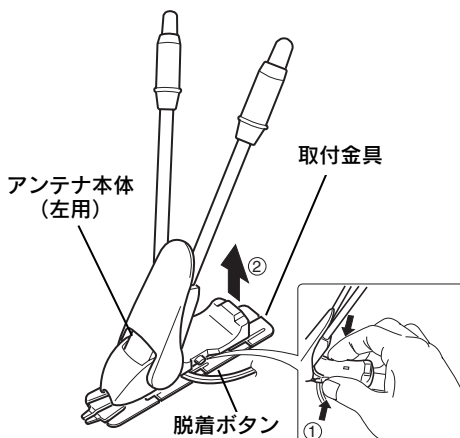
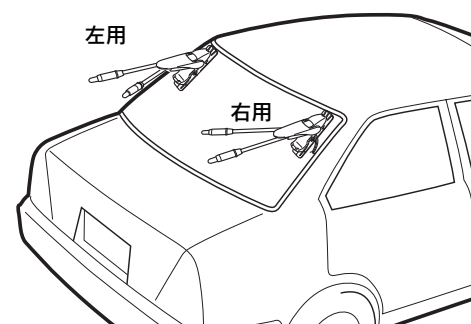
1. 取付金具をアンテナ本体に取り付けた状態で、左右のアンテナをリアウインドウガラス上に置いて取り付け位置を決めます。アンテナは角度を変え、長さは最長にして実使用状態で確認してください。



注意

- TVアンテナは右用、左用があります。車幅やバンパーからはみ出さない位置にしてください。
- TVアンテナは車両のFM/AMアンテナから離してください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送受信時にノイズが入る場合があります。
- 取付金具の貼り直しはできません。取り付け場所は慎重に決めてください。

2. アンテナ本体にある両側の脱着ボタンを押しながら【手順①】、アンテナ本体をうえに持ち上げて【手順②】、アンテナ本体をいったん取り付け金具から取り外します。



3. アンテナを貼り付ける場所は、付属のクリーナーとクリーニングクロスを使用して油污れ等を落とします。

4. 取り付け面の湾曲が大きい場合は取付金具を湾曲面に合わせて曲げます。

5. 取付金具裏面の両面テープのはくり紙をはがし、上から強く押しつけて取付金具を貼り付けます。



- 注意**
- 取付金具は確実に固定してください。不安定な取り付けをしますと、脱落等により車両を傷つけたり、事故の原因になります。
 - リアウインドウのガラス面温度が低いときは、リアデフォグの電源を入れて温めてください。温度の低いところでは両面テープの粘着力が弱くなります。また、雨の日など湿度が高い日は屋内で作業を行ってください。湿度が高いときも両面テープの粘着力が弱くなります。

6. 取付金具を貼り付けたあと24時間以上放置します。このあいだ、取付金具に水をかけたり、力を加えたりしないよう注意してください。

7. アンテナ本体の左右を間違えないように、アンテナ本体を取り外したときと逆の手順で取付金具に取り付けます。



- 注意**
- アンテナ本体を取り付ける時は、右図のようにアンテナ本体の下部前面の爪を取付金具に引っかけてから、アンテナ本体をロックするまで下に押しします。

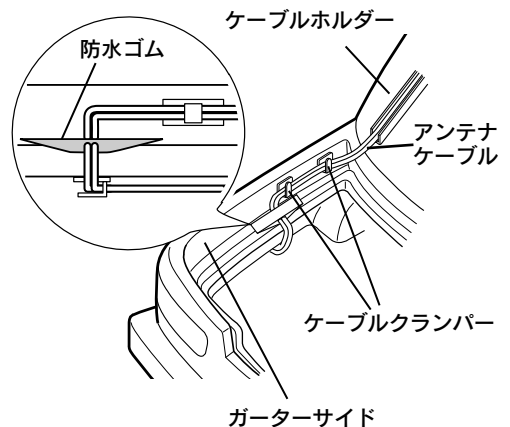
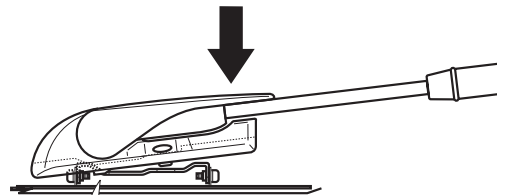
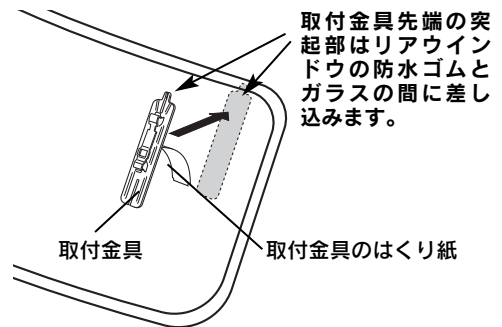
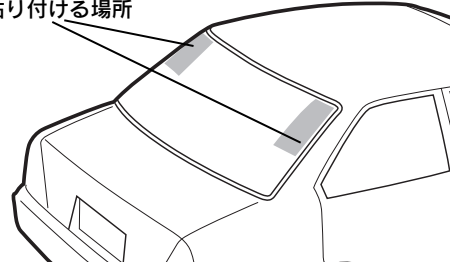
8. ケーブルホルダーを、アンテナ本体からアンテナケーブルを引き込む位置までの長さで切り、裏面のはくり紙をはがして、ガラス面に貼り付けます。

9. アンテナケーブルのねじれを直しながらケーブルホルダーにはめ込みます。

10. アンテナケーブルを車両のガーターサイドに沿って配線し、ケーブルクランパーで固定します。アンテナケーブルに付いている防水ゴムはトランクリッドにあたるようにします。

11. アンテナケーブルをレシーバーユニットまで配線します。

貼り付ける場所



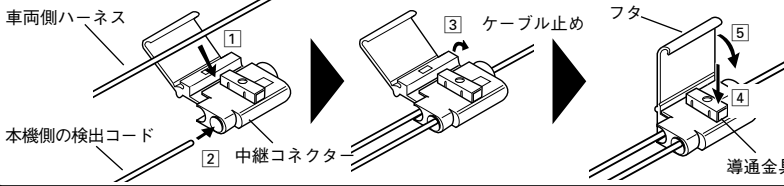
電源等の接続のしかた

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、
実施 ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをユニットに接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。

中継コネクターの使いかた

- 1 車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。
- 2 本機側のパーキングブレーキ検出コードを中継コネクターに差し込みます。
- 3 ケーブル止めをロックします。
- 4 プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- 5 最後にフタをロックします。



! 安全のため、必ずパーキングブレーキ検出コードは配線してください。
実施

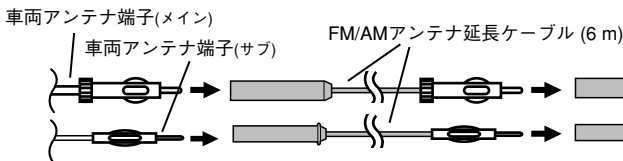
付属の中継コネクターを使用して車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。

車の金属部分（電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続します。→ **C**

キースwitchでオン/オフできる電源へ接続します。→ **A**

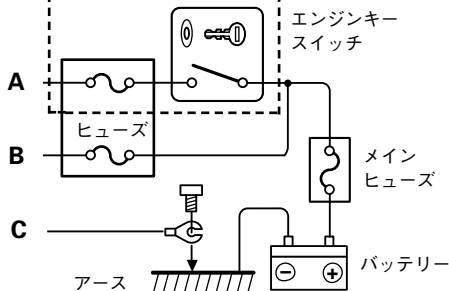
バッテリー電源へ接続します。→ **B**

ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続します。



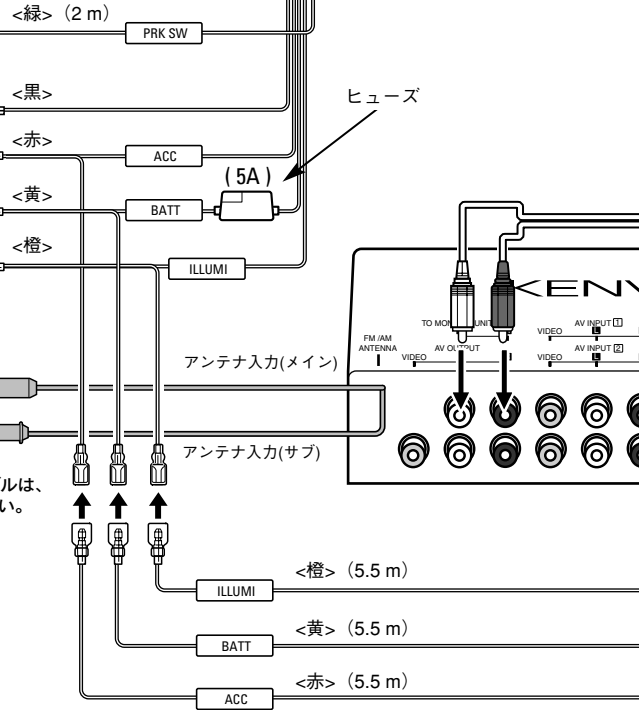
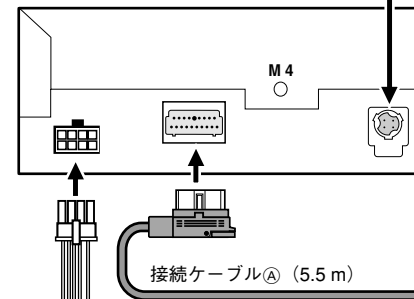
! 雑音が入る場合がありますので、FM/AMアンテナ延長ケーブルは、ディスクチェンジャーケーブルなどから離して配線してください。
実施

ACC回路のある車



! 輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合は、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリ電源コードに接続してください。

モニター/DVDプレーヤーユニット



車の金属部分（電源のマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続します。→ **C**

FM/AMオートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプースターアップの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

外部アンプの外部アンプコントロール ("EXT.AMP.CONT.") 端子に接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

<黒> (1m)

<青> (5.5m)

<青/白> (5.5m)

<桃/黒> (5.5m)

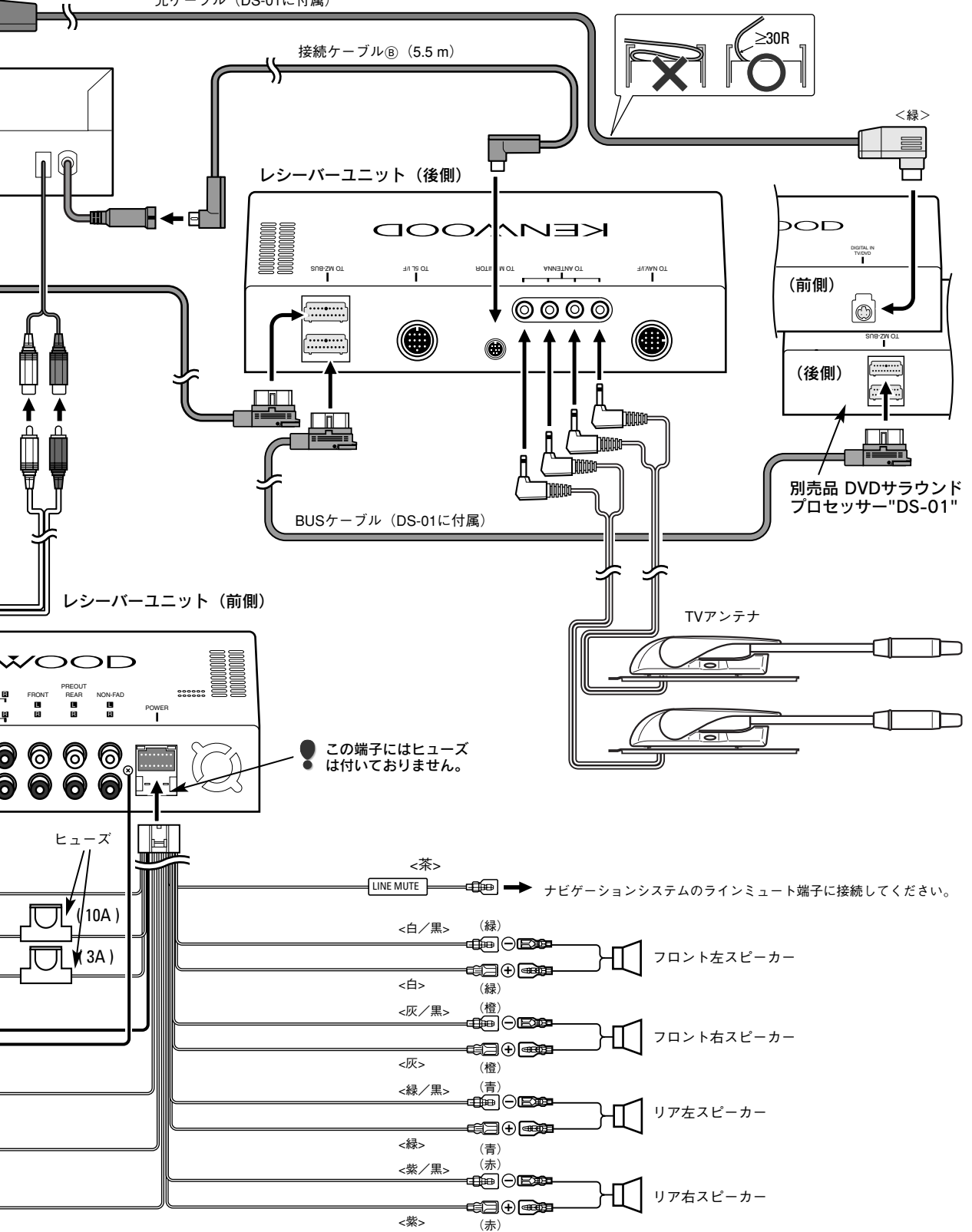


光ケーブルを配線する際は、半径30mm以下に曲げないように注意してください。それ以下に曲げると光ケーブル内の光ファイバーが破損して使用できなくなる場合があります。

注意

特に本ユニットを車両に取り付ける際には、光ケーブルが本ユニットと車両部品の間にはさまれていないか確認してください。

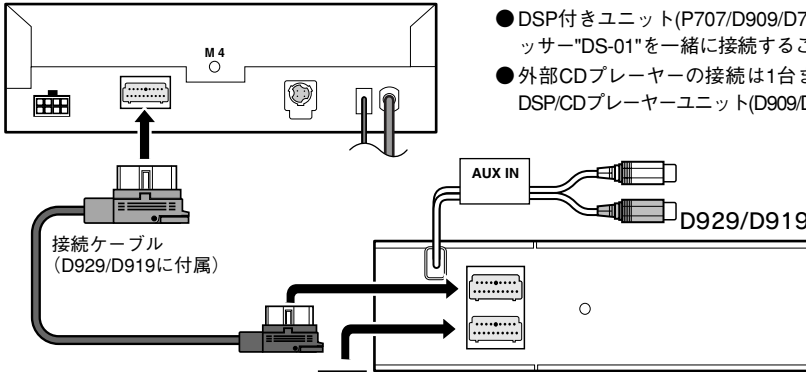
光ケーブル (DS-01に付属)



オーディオ/ナビゲーション機器の接続

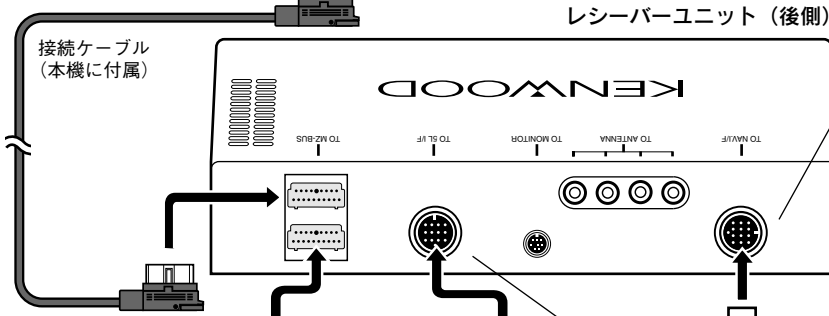
- オートチェンジャー切替ユニット"KCA-S210A"を使用してディスクチェンジャーを2台接続できます。接続はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ディスクチェンジャーの接続できる合計台数は2台までです。(KCA-S210Aを使用しても合計台数は2台までです。)
- DSP付きユニット(P707/D909/D707/X909/X707) とDVDサラウンドプロセッサ"DS-01"を一緒に接続することはできません。
- 外部CDプレーヤーの接続は1台までです。CDプレーヤー(D929/D919) とDSP/CDプレーヤーユニット(D909/D707) を一緒に接続することはできません。

モニター/DVDプレーヤーユニット



！ 使用しないBUS端子の保護キャップは外さないでください。

実施



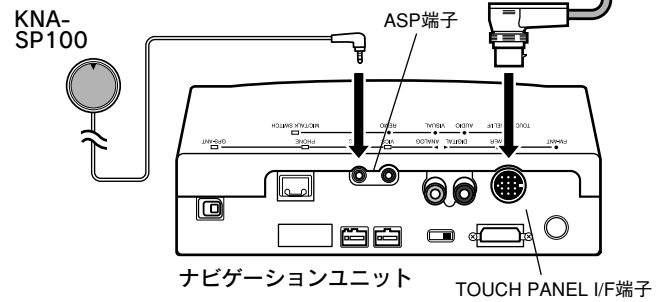
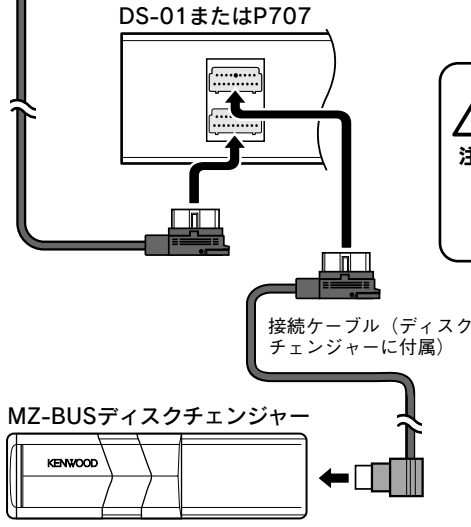
！ 故障の原因となりますので、ディスクチェンジャーの5Lコネクタータイプ接続ケーブル（濃いグレー）とナビゲーションI/Fケーブル（茶）の接続を間違わないようにご注意ください。

注意



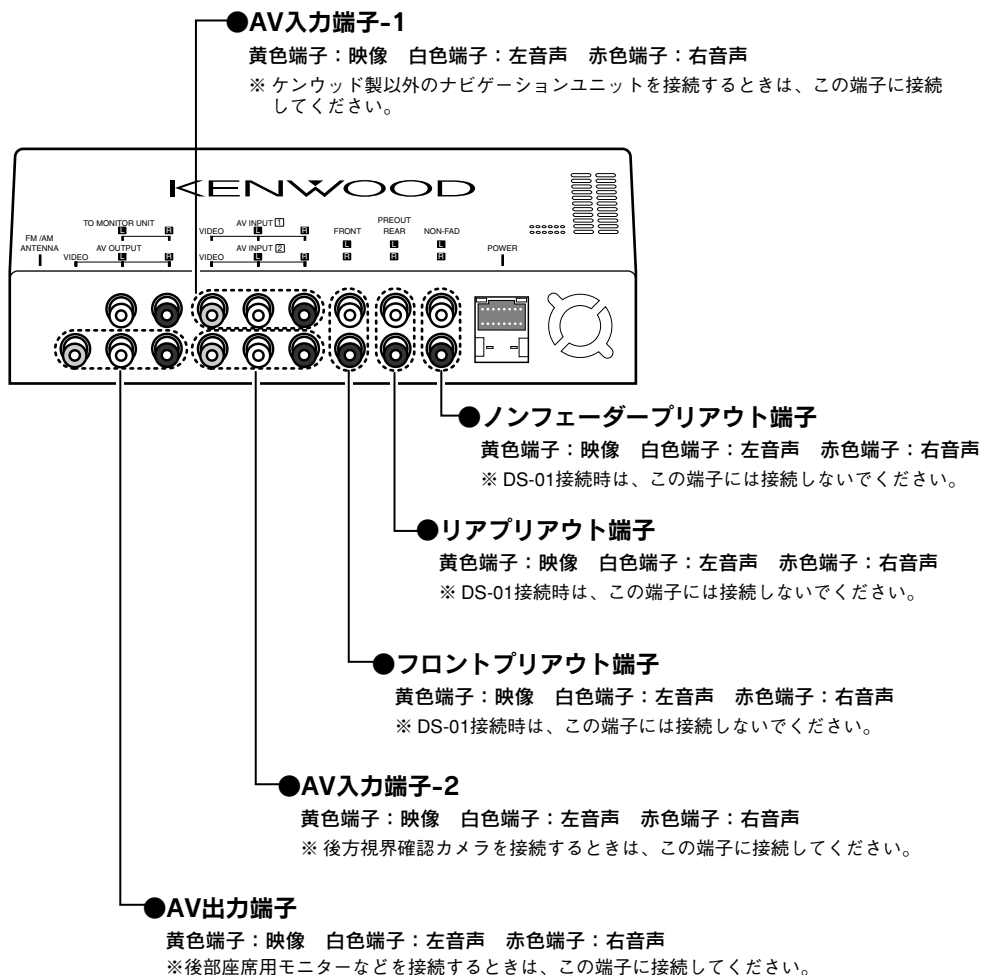
！ インターフェースケーブルを抜くときは、コネクターのリング部分を持って行ってください。ほかの部分を持って抜くとロック機構が解除されないため、コネクター部が破損する恐れがあります。

注意



AV-入/出力端子およびプリアウト端子の説明

- AV機器やアンプとの接続には、別売品の映像ケーブル(CA-3V/CA-5V)やRCAケーブル(CA-22SL/CA-52SL/CA-23WL/CA-53WL/CA-54W)、または、市販品のAVケーブルやオーディオケーブルをご使用ください。別売品のケーブルについてはケンウッドオーディオカタログをご覧ください。
- DVDサラウンドプロセッサー"DS-01"との接続については、DS-01付属の取付説明書をご覧ください。



仕様一覧

モニター部

| | |
|-------------|------------------------------|
| 画面サイズ(W×H) | 6.5インチワイド 142.6 mm × 80.7 mm |
| 表示方式 | 透過型TN型 |
| 駆動方式 | TFTアクティブマトリクス方式 |
| 画素数(V×H) | 336,960個 (480H×RGB×234V) |
| 有効画素 | 99.99% |
| 画素配列 | RGBストライプ配列 |
| 使用光源 (照明方式) | 冷陰極管 |

オーディオ部

| | |
|-------------------|------------------------------|
| 最大出力 | 45 W × 4 |
| 定格出力 | 28 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD) |
| プリアウトレベル | 4.5 V/10 kΩ (ディスプレイ時) |
| プリアウトインピーダンス | 600 Ω 以下 |
| トーン・コントロール (Bass) | 100Hz±10dB |
| (Treble) | 10kHz±10dB |

DVDプレーヤー部

| | |
|------------------|---|
| D/Aコンバーター | 1 Bit |
| ワウ/フラッター | 測定限界以下 |
| 周波数特性(サンプリング周波数) | 20 Hz~44 kHz (96 kHz) 20 Hz~22 kHz (48 kHz) 20 Hz~20 kHz (44 kHz) |
| 高周波歪率 | 0.003% |
| S/N比 | 115 dB (DVD 96 kHz) |
| ダイナミック | 95 dB (DVD 96 kHz) |
| 対応ディスク | DVD-VIDEO/VIDEO-DISC/CD-DA |
| サンプリング周波数 | 44.1 kHz/48 kHz (8 fs)、96 kHz (4 fs) |
| 量子化ビット数 | 16/20/24 Bit直線 |
| 光出力 | Dolby Digital/DTS/LinearPCM |

電源/寸法/質量など

| | |
|--------------------|---|
| 電源電圧 | 14.4 V (11~16 V) |
| 接地方式 | マイナスアース方式 |
| 最大消費電流 | 10 A |
| 寸法 (W) × (H) × (D) | 本体 180 mm × 50 mm × 165 mm 埋込寸法 178 mm × 50 mm × 165 mm レシーバーユニット 225 mm × 40 mm × 168 mm |
| 使用温度範囲 | -10°C~+60°C |
| 保存温度範囲 | -20°C~+85°C |
| 質量 (重さ) | 本体 2.0 kg レシーバーユニット 1.4 kg |

FMチューナー部

| | |
|------------------|-----------------------------|
| 受信周波数範囲(周波数ステップ) | 76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz) |
| 実用感度 (S/N:30 dB) | 9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω) |
| S/N 50 dB感度 | 15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω) |
| 周波数特性 (±3.0 dB) | 30 Hz~15 kHz |
| S/N比 | 75 dB (MONO) |
| 選択度 (±400 kHz) | 80 dB以上 |
| ステレオセパレーション | 40 dB (1 kHz) |

付属アンテナ

| | |
|----------------------|--------------------------|
| 出力インピーダンス | 75 Ω/ミニジャック3.5 φ |
| ケーブルの長さ | 6 m |
| 外形寸法 (W) × (H) × (D) | 190 mm × 28.1 mm × 30 mm |
| アンテナエレメント全伸長 | 540mm |
| 質量(重さ) | 250g (本体 1 個 ケーブル含む) |

AMチューナー部

| | |
|------------------|--------------------------|
| 受信周波数範囲(周波数ステップ) | 522 kHz~1629 kHz (9 kHz) |
| 感度 | 28 dBμ (25 μV) |

TVチューナー部

| | |
|---------------------|----------------------------|
| 受信チャンネル (VHF) | 1~12ch |
| (UHF) | 13~62ch |
| 選局方式 | PLL周波数シンセサイザー方式 |
| 復調方式 | スプリットキャリア方式 |
| アンテナ入力 | 4chダイバシティ (75Ω/ミニジャック3.50) |
| 外部映像入力レベル (RCAピン) | 1Vp-p / 75 Ω |
| 外部音声最大入力レベル (RCAピン) | 1V / 22 kΩ |
| RGB入力 (アナログ) | 0.7Vp-p / 75 Ω |

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
※液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

(東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪) 電話(06)6394-8085 〒534-0024 大阪市淀川区野中北2-1-22

受付時間：9:00~18:00 (土、日、祝祭日および当社休日は休ませさせていただきます。)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。